

令和 8 年版 災害復旧工事の設計要領

B5判 総頁1,396頁 上製本 頒価11,000円(税込み)
会員等※の方は5%引きで10,450円(税込み)、会員等※の方は送料協会負担
※「会員等」とは正会員(個人・団体)、賛助会員、国、都道府県及び市町村の方です。

「災害復旧工事の設計要領」(通称：赤本)は、昭和32年に初版を発行して以来、令和8年版で70版を数え、災害査定設計書作成時に幅広く活用されてきています。

災害復旧事業は、被災後速やかに復旧することが事業に携わるものの使命であり、このために、災害申請資料の重要書類である災害査定設計書を迅速かつ的確に作成する必要があります。

災害査定用歩掛は、災害査定設計書を作成するための歩掛ですが、実施設計書との乖離が生じないように、平成5年7月より土木工事標準歩掛に準拠しており、施工形態の変化や歩掛の合理化・簡素化などの変化に合わせ、令和8年も改正しています。

令和8年版災害復旧工事の設計要領の主な改正内容は以下の通りです。

主な改正内容（概要）

令和8年版の主な改正内容の概要

主な内容は、以下の通り（本編中にアンダーラインを記入）。

1. 一般管理費等率の改定
最新の本社経費の実態を反映し、一般管理費等率を改定。
2. 大規模災害の被災地における復興係数・復興歩掛
令和6年能登半島地震（石川県）の被災地においては、工事における作業効率の低下が確認されたことから、実態調査を踏まえ、歩掛の日当り標準作業量の補正（復興歩掛）を新たに設定。
平成23年東日本大震災（岩手・宮城・福島県内）、平成28年熊本地震（熊本県内）の被災地においても実態調査を踏まえ、復興係数・復興歩掛を設定。
3. 土木工事標準歩掛
 - (1) 新規制定【3工種】
 - ① 鉄筋工、② 土のう工、③ 防塵処理工
 - (2) 使用機械、労務等の変動による改定【3工種】
 - ① 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）、② 仮橋・仮栈橋工、③ 仮囲い設置・撤去工
 - (3) 移動時間を考慮した改定【2工種】
 - ① 濁水処理工（一般土木工事）、② 地すべり防止工（ふとんかご）
4. 施工パッケージ関係
 - (1) 使用機械、労務等の変動による改定【4工種】
 - ① 機械土工（土砂）[ブルドーザ掘削]、② 機械土工（岩石）掘削、
③ 機械土工（土砂）[床掘]（ICT）、④ 捨石工
 - (2) 移動時間を考慮した改定【4工種】
 - ① 排水構造物工（鉄筋コンクリート台付管）、② 笠コンクリートブロック据付工
5. 建設機械等損料の改訂
6. その他、字句等の修正

【図書購入申込については、裏面をご利用下さい。】

◎(公社)全国防災協会の会員等（正会員（個人・団体）、賛助会員、国、都道府県及び市町村）の方は必要事項をもしなくご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

◎会員等以外の方は東京官書普及(株)シビルBooks(送料あり)にお申し込み下さい。

申込及びお問い合わせ先：公益社団法人 全国防災協会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-8 新小伝馬町ビル6F

<https://www.zenkokubousai.or.jp>

TEL 03(6661)9730(代)

FAX 03(6661)9733